



IR (Institutional Research) 担当者向け実践プログラムの 概要と今後の展望

プログラムディレクター・主担当講師

藤原 宏司

(山形大学 学術研究院 教授)

「IR (Institutional Research) 担当者向け実践プログラム」 記念イベント

2023.10.20 @ 山形大学小白川キャンパス

本プログラムの概要（1）

- 本プログラムは、明治大学との連携および他大学においてIRの実務経験を持つ教職員に協力いただきながら、**2020年度に開講（第1期）**しました。
現在、2023年度（第5期）が終了するところです。
- 第5期終了時のプログラム修了者の総数は、**51名**
 - 各期の定員：7名（2023年度より、12名へ定員増）

本プログラムの概要（2）

- 本プログラムは、**学校教育法**に基づき、
山形大学が提供する**非学位かつ学部レベル**の
履修証明プログラムであり、修了者には、
学長名での**履修証明書**※が授与されます。
- 本プログラムは、
文部科学省 令和4年度「職業実践力育成プログラム」
(BP) の認定を受けています。

※ 履修証明書と、講習会や研修会で貰える受講証明書は、違うものです。

本プログラムの概要（3）

- 履修期間：6ヶ月（年に1回の開講）
- 総授業時数：60時間 + α
 - 過去の修了生に聞くと、必要な学習時間は「大学設置基準」上の「2単位」以上。（米国大学の2年生レベルのクラスを想定）
- 社会人が受講しやすいように、プログラムをオンデマンド教材（講義動画）と、月に1回程度、週末に行われるリアルタイム授業のみで構成（完全オンライン）しているため、自身のペースで学習を進めることができます。

本プログラムの概要（4）

- 受講生はプログラム終了後、**約半年間**、**オンデマンド教材へアクセス**することができます。
よって、繰り返しの復習が可能です。
- また、修了生は翌期以降も「**特別聴講生**」として、**本プログラムに参加**することができます。

本プログラムの概要（5）

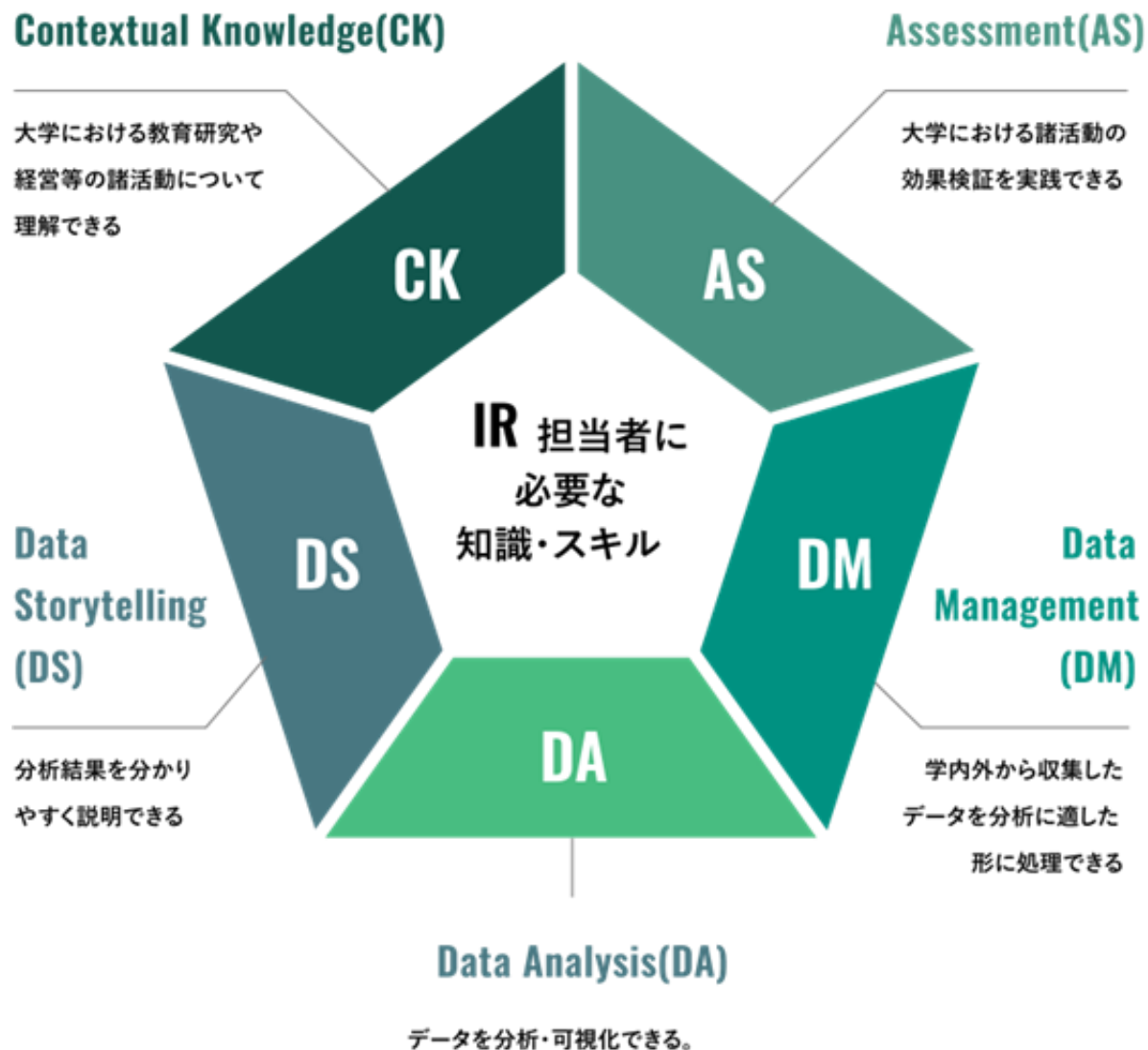
- 本プログラムは、米国の大学院におけるIR履修証明プログラムを参考に、日本の大学の文脈に即した

「IR担当者に必要な知識・スキル」

を定め、それら**知識・スキルの「基礎」**

を体系的に涵養することを目的としています。

IR担当者に必要な知識・スキル



■ 詳細は、藤原（2015）および藤原ほか（2019）を参照してください。

カリキュラム例

2023年度 IR (Institutional Research) 担当者向け実践プログラム提供科目 (第5期)

科目分野	科目コード	コース番号	科目名	学習する知識・スキル (前ページ参照)				
				CK	AS	DM	DA	DS
IR 入門	IR	101	IR 入門	○	○			
IR 応用	IR	151	IR の発展過程	○				
	IR	171	明治大学における IR	○	○			
	IR	211	IE とデータ活用		○			
データマネジメント&分析 (DMA)	DMA	101	DMA 入門			○		
	DMA	102	R による データマネジメント入門			○		
	DMA	103	データ分析・可視化入門				○	
	DMA	104	レポートニング入門					○
IR 実践	IR	191	IR プロジェクト (1)			○	○	○
	IR	192	IR プロジェクト (2)			○	○	○
ゲスト講演・その他	IR	175	他大学における IR	○	○			
	IR	199	次のステージへ向けて			○	○	

注：「○」は、その科目の学習目標の中に、前ページで示した「知識・スキル」の修得が含まれていることを意味します。

プログラム評価&改善活動について

- 中間インタビュー※（対面式）
- 修了者インタビュー（対面式）
- 修了生の声（記名式）
- 外部評価員による「最終成果発表会」の内容評価



- ✓ これらの結果を踏まえ、翌期以降の授業内容、授業実施方法、プログラム運営等の**改善に活かす**よう努力しています

※ 受講生の数が少ないため、アンケートではなくインタビューを実施しています。

修了生からの意見を取り入れた例

- プログラムの流れが概観できるスケジュール表が欲しい → **翌期から**オリエンテーション時に配布

シラバス科目名	分類コード	授業内容・タイトル	主担当	5月	6月	7月	8月	9月	10月
IR入門	IR101	IR入門	藤原		終了	終了	終了		
IR応用	IR151	IRの発展過程	浅野			終了	終了		
IR応用	IR171	明治大学におけるIR	山本幸一			終了	終了		
IR応用	IR205	公立大学におけるIRの現状	岸根				終了		
IR応用	IR211	IEとデータ活用	山本幸一				終了	終了	
他大学におけるIR	IR175	TBA (宮崎大学)	田中		終了				
他大学におけるIR	IR175	TBA (鶴見大学)	北原			終了			
他大学におけるIR	IR175	TBA (淑徳大学)	荒木				終了		
DMA入門	DMA101	DMA環境の構築	藤原	終了					
DMA入門	DMA102	Rによるデータマネジメント入門	藤原		終了	終了	終了		
DMA入門	DMA102	RによるDMの実践	藤原						
DMA入門	DMA103	Diverging Stacked Bar Chart (Excel)	山本幸一		終了				
DMA入門	DMA103	アンケート作成の基本	藤原			終了			
DMA入門	DMA103	Microsoft Forms入門	山本幸一			終了			
DMA入門	DMA103	Power BI入門	藤原				終了	終了	
DMA入門	DMA103	Rによるデータの可視化	藤原				終了		
DMA入門	DMA103	グラフの選び方	藤原						終了
DMA入門	DMA104	プレゼンテーション発表会	藤原		終了	終了	終了		
DMA入門	DMA104	プレゼン発表会：分析例	田中		終了				
DMA入門	DMA104	エクセルによるプレゼンデータの分析例	関		終了	終了			
DMA入門	DMA104	Executive Summary	藤原					終了	
DMA入門	DMA104	Rによる効率的なレポート作成	田中				終了	終了	終了
IR実践	IR191	IRプロジェクト(1)	藤原					終了	
IR実践	IR192	IRプロジェクト(2)	藤原						終了
特別講演	IR199	次のステージへ向けて	藤原						終了

※ 2023年度データ

募集要項の変更について：第6期以降

■ 【変更を検討】 募集対象（案）

以下のいずれも満たす方

- ① 本プログラムの対象者が「**IR（Institutional Research）の初心者**」であることを理解されている方
- ② **所属を問わず**、今後、IR関連の業務に就くことを希望されている、もしくは、IR担当者としての基礎的な知識・スキルを体系的に涵養したい方

■ 【変更を検討】 募集対象（案）

- ・ 高等学校卒業等者の大学入学資格を有している方

■ 【変更のポイント】

- ・ 大学等の高等教育機関における勤務条件を削除

■ 第6期に関する告知はOIREのHP上で行います。

参考文献

- 藤原宏司（2015）「米国におけるIR履修証明プログラムについての一考察」，『大学評価とIR』，第1号，pp.19-30.
- 藤原宏司, 浅野茂, 白石哲也, 鈴木達哉, 山本幸一（2019）「IR履修証明プログラムの開発について」，『大学評価とIR』，第10号，pp.3-15.

THANK YOU!

ANY QUESTIONS, COMMENTS OR SUGGESTIONS?

藤原 宏司 | Koji Fujiwara, Ph.D.

kfujiwara@cc.yamagata-u.ac.jp

